

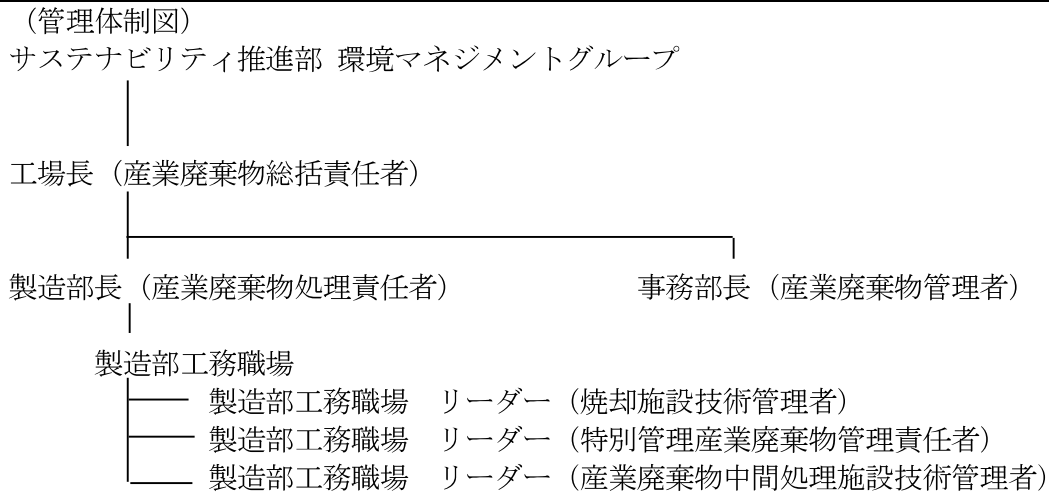
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月 20日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者	
住 所	愛知県江南市中奈良町一ツ目 1 番地
氏 名	森永乳業株式会社 中京工場
	執行役員工場長 大沼 千尋
	(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号	0587-55-7311
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	森永乳業株式会社 中京工場
事 業 場 の 所 在 地	愛知県江南市中奈良町一ツ目 1 番地
計 画 期 間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
09 事 業 の 種 類	09 食料品製造業
②事 業 の 規 模	21,978百万円
③従 業 員 数	340人 (令和7年3月末)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工場から排出→収集・運搬→中間処理→再資源化 (肥料化・飼料化等)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項(以降、別紙1, 2, 3の通り)

① 現状	【前年度 (令和6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1, 2, 3の通り	
	排 出 量	同上	t
	(これまでに実施した取組) 同上		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1, 2, 3の通り	
	排 出 量	同上	t
	(今後実施する予定の取組) 同上		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙1, 2, 3の通り
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理)	動植物性残さ
	排 出 量	1, 209 t	1, 226 t
	（これまでに実施した取組） 担体槽導入による汚泥の自己消化 汚泥乾燥機の安定稼働 菌叢管理による引抜汚泥量の適正化 各製造ラインでの歩留まり向上による汚泥負荷の軽減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理)	動植物性残さ
	排 出 量	1, 209 t	1, 226 t
	（今後実施する予定の取組） 乾燥機の安定稼働（トラブルによる脱水汚泥搬出0の継続） 各製造ラインでの歩留まり向上による汚泥負荷の軽減		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理)	動植物性残さ
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	967 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥乾燥機の導入		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理)	動植物性残さ
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	967 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(別紙 1－4 面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理)	動植物性残さ
	全 処 理 委 託 量	242 t	1, 226 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	242 t	745 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	242 t	1226 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥乾燥機の導入による脱水 粕受けの水抜き口改造によるコーヒー、茶滓の脱水 菌叢管理による引抜汚泥量の適正化 各製造ラインでの歩留まり向上による汚泥負荷の軽減		

(別紙 1－5 面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理)	動植物性残さ
		全 処 理 委 託 量	242 t	1, 226 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	242 t	745 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	242 t	1, 226 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組) 乾燥機の安定稼動（トラブルによる未乾燥汚泥の排出を 0）		
	※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラ類
	排 出 量	24 t	63 t
	（これまでに実施した取組） 金属くずの分別によるリサイクル化 廃プラスチック類の分別によるリサイクル化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラ類
	排 出 量	24 t	63 t
	（今後実施する予定の取組） 金属くず分別の強化による再利用 廃プラスチック類の更なる分別によるリサイクル化		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラ類、廃油、蛍光灯・電池類		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類の更なる分別取組みによるリサイクル化		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(別紙 2－4 面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラ類
	全 処 理 委 託 量	24 t	63 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	24 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	24 t	63 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 金属くずの分別によるリサイクル化 プラスチック類の分別によるリサイクル化		

(別紙 2－5 面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラ類
	全 処 理 委 託 量	24 t	63 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	24 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	24 t	63 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 金属くず分別の強化による再利用 プラスチック類の更なる分別によるリサイクル化		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ等	汚泥(廃棄製品)
	排 出 量	402 t	30 t
	（これまでに実施した取組） パックリサイクル破砕機更新 ストレッチフィルム類のリサイクル化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ等	汚泥(廃棄製品)
	排 出 量	402 t	30 t
	（今後実施する予定の取組） 焼却ごみの分別・リサイクル化による燃え殻削減 製造工程から排出されるごみの分別徹底		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ストレッチフィルム・段ボールの分別・リサイクル化		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 焼却ゴミ、ガラス屑の更なる分別・リサイクル化		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ等	汚泥(廃棄製品)
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	243 t	0t
	(これまでに実施した取組) 焼却ゴミの分別・リサイクル化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ等	汚泥(廃棄製品)
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	243 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 焼却ゴミの更なる分別・リサイクル化		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ等	汚泥(廃棄製品)
	全 処 理 委 託 量	402 t	30 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	159 t	11 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	159 t	30 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 焼却ゴミの分別・リサイクル化による燃え殻削減 製造工程から排出されるごみの分別徹底		

(別紙 3－5 面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ等	汚泥(廃棄製品)
	全 処 理 委 託 量	402 t	30 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	159 t	11 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	159 t	30 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。